

読谷村まちづくり構想策定支援事業基本計画、実施計画

1. 計画条件の整理	1
2. 施設配置計画	
(1) 屋内運動場（ドーム）及び北口駐車場周辺	2
(2) 多目的広場周辺	3
(3) テニスコート及び西口駐車場周辺	4
(4) 全体の施設配置計画	5
3. 屋内運動場（ドーム）計画	6

令和4年3月

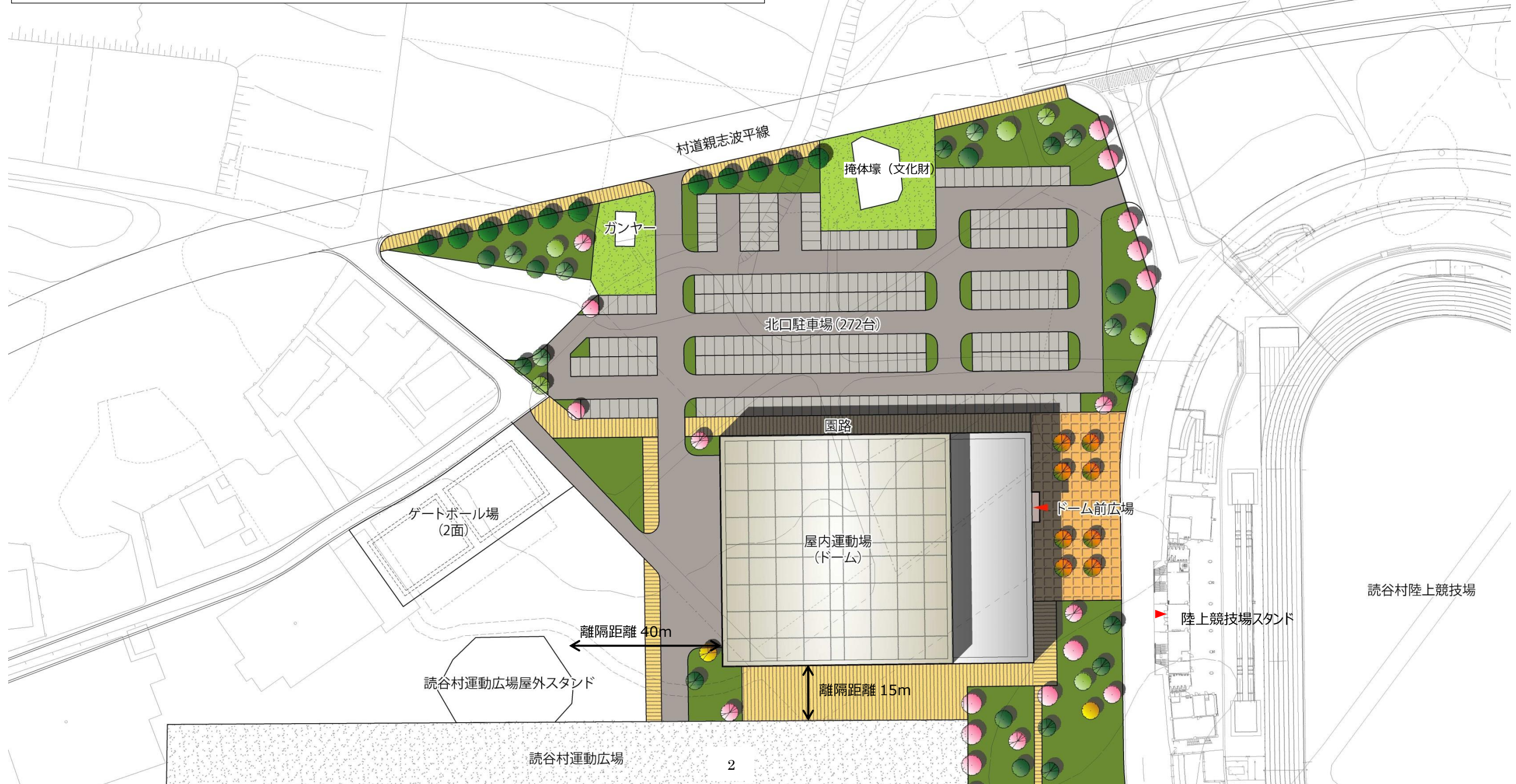
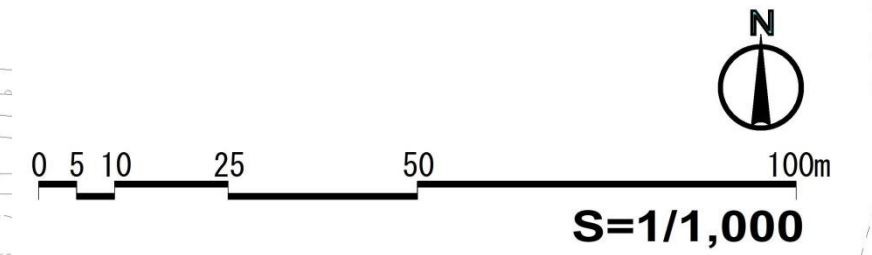
1. 計画条件の整理

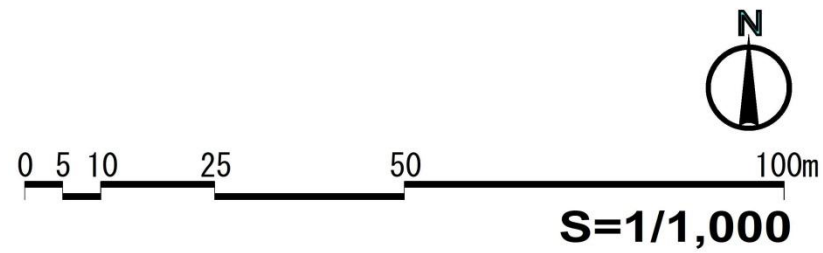
施設名称	運動内容	現 状	関係者ヒアリング結果	計画条件
屋内運動場 (ドーム)	野球	－	【読谷村ソフトボール協会】 ●ドームは雨天時の開会式や、ソフトボール教室で利用したい。 【少年野球読谷支部】 ●ドームで試合ができるのであれば使いたい。 ●練習で活用したい。	●野球練習の可能な広さをアリーナで確保
	トレーニング	●読谷村トレーニング室 (300 m ²)	－	●トレーニング室の機能を、ドームへ移転
	屋内サッカー	－	【読谷村サッカー協会】 ●ドーム内ではフットサル希望	●フットサルコート 2 面のスペースをアリーナで確保
	ゲートボール (屋内外)	－	【読谷村ゲートボール協会】 ●2 面あれば助かるが、4 面あれば十分に大会が開催可能 【読谷村老人クラブ連合会】 ●4 面とれると助かる	●ゲートボール 4 面分のスペースをアリーナで確保
テニスコート	テニス	●読谷村テニスコート (2 面) ●残波岬テニスコート (3 面)	【読谷村体育協会 (硬式テニス)】 ●大会を運営するには、8 面欲しい。 ●舗装はオムニコート (軟式・硬式共有利用するため) ●ナイター設備は必須 【読谷村体育協会 (軟式テニス)】 ●8 面あれば大会を誘致できる。 ●舗装はすべてオムニコート (クレートコートは管理が難しい) ●大会等の受付、倉庫、トイレのあるクラブハウス	●8 面を確保 ●屋根付きベンチ及びトイレを設置
多目的広場	サッカー	●読谷村多目的広場 (1 面)	【読谷村サッカー協会】 ●120m (最低 115m) ×68mのサッカー場 (周囲 5m) ●観客席、緑地帯	●120m×70mの人工芝グラウンドを確保 ●屋根付きベンチ及び倉庫を設置
	ラグビー	同上	【読谷村ラグビー協会】 ●120m×70m (周囲 5m) ●着替えできるクラブハウス、ベンチ、スタンド、得点版	同上
冬季キャンプ	野球	●仮設の冬季室内運動場に対応 (ブルペン、室内フリー打撃)		●仮設のブルペンを残し、読谷村トレーニング室を冬季室内練習場として活用 ●室内フリー打撃の機能を屋内運動場 (ドーム) へ移転
駐車場	－	●中央駐車場 (約 530 台)	－	●中央駐車場 530 台、北口駐車場約 270 台、西口駐車場約 210 台 (合計 1,000 台程度を予定する)

2. 施設配置計画

(1) 屋内運動場（ドーム）及び北口駐車場周辺

- 屋内運動場（ドーム）（以下「ドーム」という。）は、読谷村運動広場の北側、読谷村陸上競技場の西側に配置する。ただし、大規模建築物が周囲に与える圧迫感に配慮して、読谷村運動広場から15m、同屋外スタンドからは40mの離隔距離をとる。
- ドームのエントランスは、読谷村陸上競技場スタンドのエントランスと対面する位置付近に設け、間の空間にドーム前広場を配置する。
- 北口駐車場は、村道親志波平線と陸上競技場北西側の園内道路からアプローチし、掩体壕やガンヤーといった歴史的文化財を避けつつ、270台分を確保する。





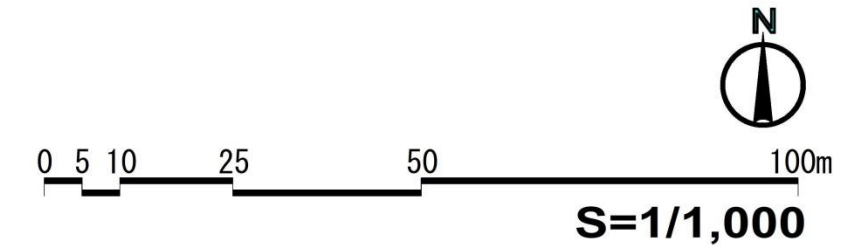
(2) 多目的広場周辺

- サッカー・ラグビーコート、120m×70mのピッチ周囲に幅 5mの余裕を持たせた空間として、人工芝で舗装する。そのスペースを確保するため、既存の読谷村多目的広場を南北に拡大する。
 - 南側：現在の植栽帯を削減し、サッカー・ラグビーコート用地にする。そのため、既存の照明柱を 1 本撤去する。
 - 北側：現在の園路を削減し、サッカー・ラグビーコート用地にする。そのため、既存の照明柱を 2 本撤去する。
- 園路幅は現況の 6mを確保するため、読谷村運動広場との間にある植栽帯を削減する。また、運動広場の既存倉庫は、既存トイレの北側へ移設する。
- 多目的広場の西側には、サッカー及びラグビー競技関係者や観覧者が利用できる屋根付きベンチと、用具を収納する倉庫を配置する。
- サッカー・ラグビーコートの西側には、ウォーミングアップスペースや観覧スペースとして利用できる人工芝のスペースを確保する。
- 多目的広場と読谷平和の森球場の間には、園路（幅員 5m）を新設する。両者の間は、園路で連絡する。
- 読谷村陸上競技場の南東側にある仮設のブルベンは残し、読谷村トレーニング場とともに冬季キャンプ施設として活用する。

● 照明柱（使用中）の位置
 ● 照明柱（破損）の位置
 ※実際の大きさは直径 40cm →

(3) テニスコート及び西口駐車場周辺

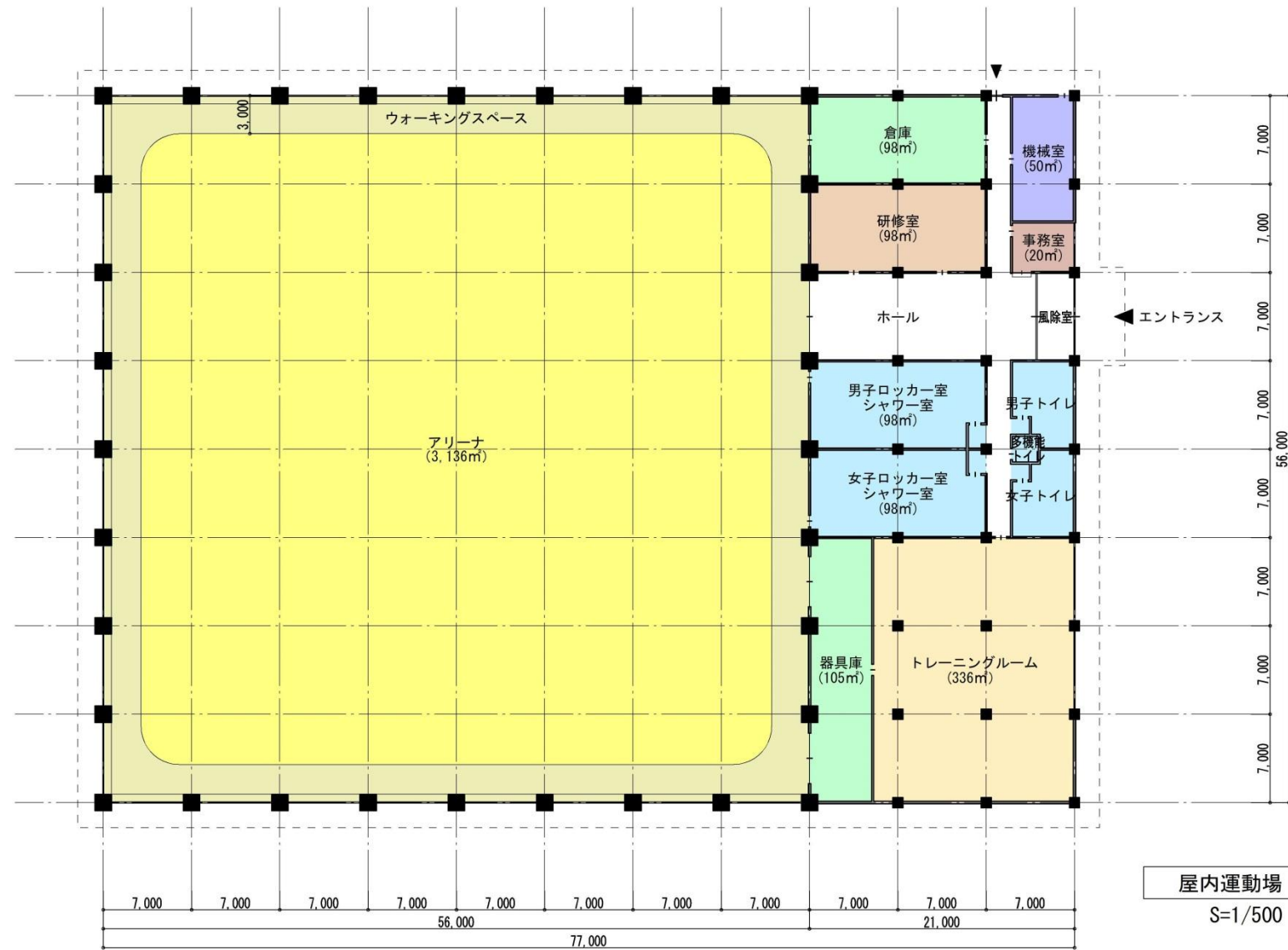
- テニスコート8面は4面ずつ2ヶ所に分け、間に1m程度盛土したうえで屋根付きベンチを配置し、利用者の休憩や観覧スペースとして利用できるようにする。また、駐車場に近いテニスコート北側にトイレを設置するとともに、沈砂池との間で壁打ちスペースを確保する。
- 西口駐車場は、村道楚辺座喜味線と村道福祉センター線の両方からアクセスできる場所に210台分を確保する。
- 将来的に新体育館を整備する際の用地は、テニスコートと村道福祉センター線の間でリザーブ用地として確保する。



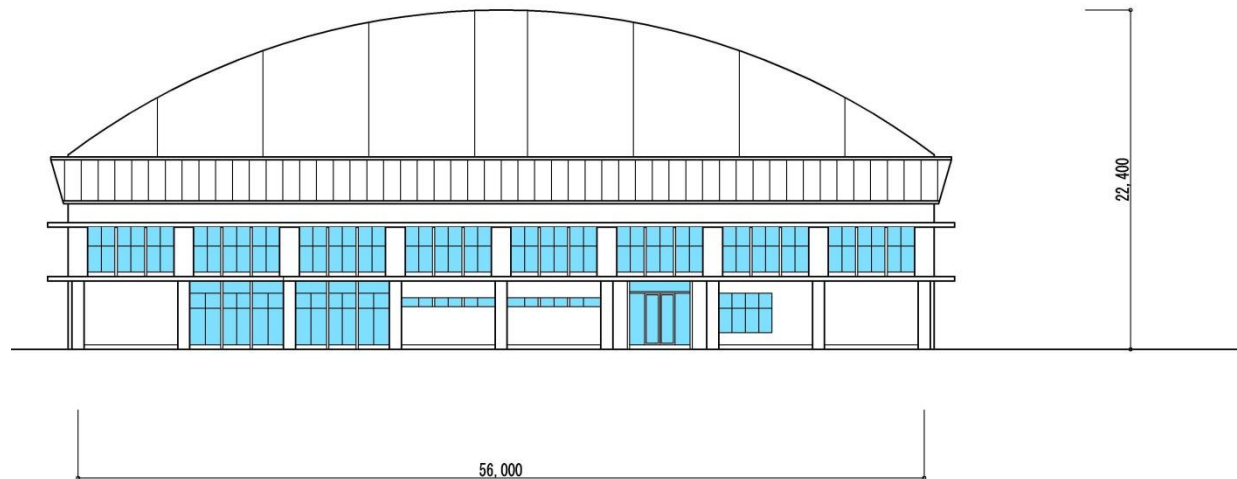
3. 屋内運動場(ドーム)計画

屋内運動場(ドーム)面積表

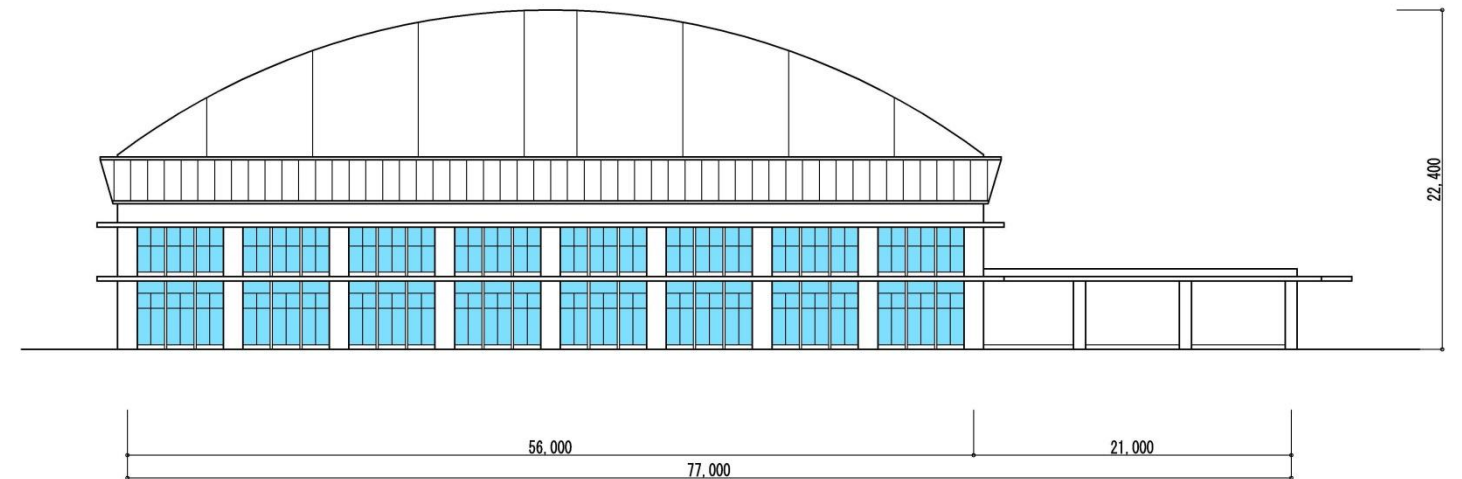
室名	面積 (㎡)
アリーナ	3,136
トレーニングルーム	336
研修室	98
ロッカー室・シャワー室・トイレ (男・女)	196
トイレ (男・女・多機能)	70
事務室	20
器具庫	105
倉庫	98
機械室	50
ホール・風除室・廊下	203
合計	4,312



屋内運動場 平面図
S=1/500 (A3)



正面立面図



屋内運動場 立面図
S=1/500 (A3)

側面立面図